

日本精神神経学会専門医認定試験問題解答と解説 第4集
お詫びと訂正

第11回問題046 (p138)において、我が国の児童虐待に関する出題がなされていますが、正解の1つとされる選択肢bの内容について、その内容にも誤りがあるのではないかとのご指摘をいただきました。

当該選択肢bは「虐待が疑われる場合、医療者には通報の努力義務がある」と記載されています。しかしながら、「児童虐待の防止等に関する法律」においては、第5条で早期発見について「努めなければならない」とされている一方で、第6条では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者に対し、通告義務が課されています。

また、参考文献としてあげております瀧川一廣『子どものための精神医学』（該当箇所：pp315-374）には、同法について、(1) 児童虐待の禁止、(2) 国および自治体に対する児童虐待の早期発見および子どもの保護の義務づけ、(3) 児童虐待を見つけた者への通告の義務づけ、(4) 虐待が疑われたときの立ち入り調査、(5) 虐待をおこなった保護者に対する指導や親権喪失制度の適用、などが定められている旨が記載されています。

以上をふまえ、第11回問題046の選択肢bは誤りであり、正解はeのみとなります。

以上、訂正いたします。

新興医学出版社